

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略の骨子（案）

まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の概要

長期ビジョン(中長期展望・2060年を視野)

- I. 人口減少問題の克服
- ◎2060年に1億人程度の人口を維持
 - ◆人口減少の歯止め
 - ・国民の希望が実現した場合の出生=1.8
 - ◆「東京一極集中」の是正
- II. 成長力の確保
- ◎2050年代に実質GDP成長率1.5~2%程度維持

総合戦略(2015~2019年度の5ヶ年)

- 基本目標(成果指標、2020年)
- ・地方における安定した雇用を創出する
(若者雇用創出数(地方)、若い世代の正規雇用労働者等の割合、女性の就業率)
 - ・地方への新しいひとの流れをつくる
(地方・東京圏の転出入の均衡(2020年))
 - ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
(第1子出産前後の女性継続就業率、結婚希望・夫婦子ども数予定実績指標等)
 - ・時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する(地域連携数等、地方版総合戦略を踏まえて設定)

兵庫県地域創生戦略(仮称)[2015~2019年度][骨子案]

兵庫県の人口の将来展望

2060年における兵庫県の人口
450万人をめざす

合計特殊出生率

現行1.42 ⇒ 2040年1.83
⇒ 2060年2.00

社会移動

- ・若者を対象として転出超過を解消
- ・2010~2014年の実績値(平均)により独自の移動率を設定

基本目標

人口対策	自然増対策	多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する 地域に根ざしたしごとを創出する
	社会増対策	人や企業、資本の還流により地域の発展力を高める 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる
地域の元気づくり 東京一極集中の是正		兵庫発のイノベーションにより産業の競争力を強化する 地域の機能分担と連携を高める
		健康長寿社会をつくる 住みやすい地域をつくる
		県土空間の安全・安心を高める

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略 ~市民一人ひとりの幸福の実現~

人口ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

人口減少の抑制

◎計画期間中 151,000 人を維持

◎長期的(H72:2060)には 110,000 人を確保



《出生数の維持》

H32年間出生数 1,000人(出生率:1.29)とし、以降も年間出生数 1,000人程度の維持を前提とする。その場合、出生率は、H42:1.51、H72:2.00となる。

《人口移動の是正》

転出超過傾向の是正
人口流出抑制・転入促進による人口移動の均衡をめざす。

基本目標と成果指標

良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

- 居住地に住み続けたいと思う市民の割合:80%

【転入者数:●●人増加】

【転出者数:●●人減少】

【休日の歩行者通行量:●●人増加】

【観光客入込数:●●千人増加】

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 子育てがしやすいまちだと思える市民の割合:67.0%

【市内出生数:●●人増加】

地域のきずなを深め多世代交流を促進する

- 参加と協働の取り組みを行ったことがある市民の割合:30%

【自分が健康だと思っている65歳以上の市民の割合:●●ポイント上昇】

新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす

- しごとにやりがいを感じる市民の割合:85%

【市内事業所数:●●事業所増加】

総合戦略

主な施策案

- ふるさと団地の再生
- 歩いて暮らせるまちづくり
- 公共施設マネジメントの強化
- 魅力の創造・発信
- 安全安心のまちづくり

- 結婚支援
- 出産支援
- 子ども・子育て支援
- 教育環境の充実
- 女性が働きやすい環境づくり

- 健康づくりの推進
- 自主的な地域づくり
- 居場所づくり

- 就労支援の充実
- 新たな仕事と雇用の創出
- 産業の活性化

主な重要業績評価指標(KPI)

ふるさと団地への流入人口:1,240人

鉄道の一日の乗降客数:134,000人

休日の歩行者通行量:62,000人

直売所来場者数:50,000人

観光客入込数:1,800千人

ふるさと団地の生産人口比率:55.0%

親元近居助成件数:120人

未婚率(20~35歳女性):●●%

妊婦健診受診者数:1,180人

保育所の入所待機児童数:0人

女性の就業率:●%

地域分権制度参画団体数:260団体

こども若者相談申込数:130件

認知症予防に係る地域の居場所数:●箇所

小売店舗数:940店舗

川西しごと・サポートセンターの年間就職件数:1,400件

新商品開発申請件数:4件